

5

月は、地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれたりしています。月の大きさは実際には変わりませんが、月が地球に最も近づいたときに、最も大きく見え、地球から最もはなれたときに、最も小さく見えます。

地球から見える満月を円とみて、最も大きく見えるときの見かけの直径を「最大の満月の直径」、最も小さく見えるときの見かけの直径を「最小の満月の直径」ということにします。

「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約14%長いです。



月の画像

最も小さく見えるとき
(イメージ)

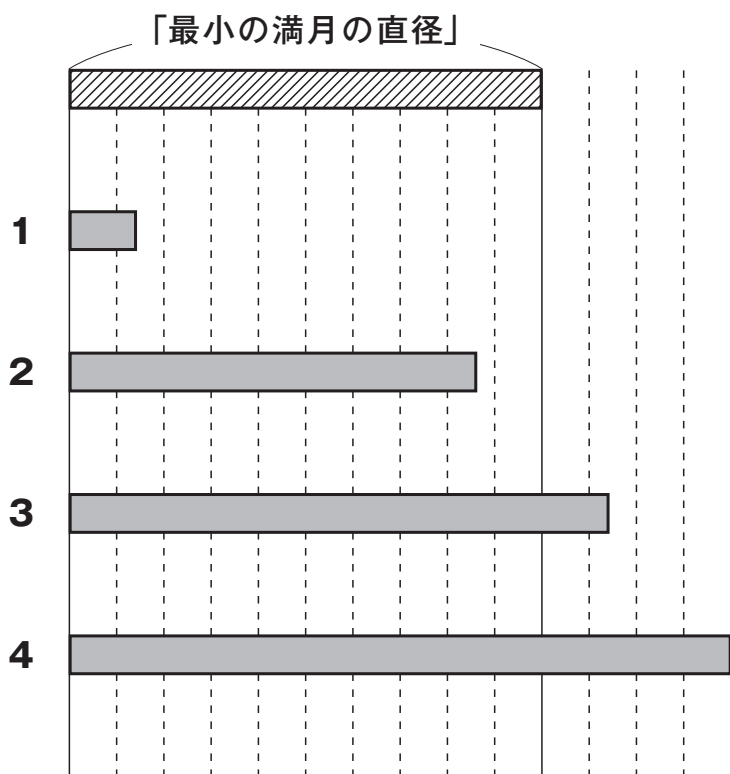


月の画像

最も大きく見えるとき
(イメージ)

- (1) 「最小の満月の直径」を , 「最大の満月の直径」を  として、図に表します。

「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が14%長いことを表しているものを、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



月の直径を、^{こうか}硬貨の直径に置きかえて考えます。

1 円玉， 100 円玉， 500 円玉の直径は，それぞれ下のとおりです。

硬貨の種類とその直径

1 円玉	100 円玉	500 円玉
		
20 mm	22.6 mm	26.5 mm

- (2) 「最小の満月の直径」を 1 円玉の直径としたときに，「最小の満月の直径」をもとにして 14 %長くなっている「最大の満月の直径」は， 100 円玉と 500 円玉のどちらの直径に近いですか。

下の **1** と **2** から選んで，その番号を書きましょう。

また，選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを，言葉や式を使って書きましょう。

1 100 円玉

2 500 円玉